

MCR の一年間

MCR13 期 医療疫学分野 専門職学位課程 土方保全

	学生として	教室員として	私生活
3月			残務と引越しに追われる。つわりで妻がダウン。
4月	授業を取りすぎるな！と念を押されるが、結局取りすぎ、月から金まではぼ予定が埋まる。	同期6人と出会う。長老じゃなくてほっとする。	京都の交通事情の悪さ（とくに路駐）に驚く。長女の小学校が遠く、毎朝自転車で送ることに。
5月	前期前半の課題に追われる。医療経済や医療の質などの研究分野があること、量的研究と質的研究の違いを知る。プロマネ・プレプロマネで研究1をばっさり切っていただく。	ミーティングで先輩方の発表の質の高さに自信をなくす。研究1の大枠ができミーティングで揉んでいただく。STATAを購入。	貯金の減るスピードに驚き、弁当とコーヒーを持参することに。尼崎の寝当直（月2回）を開始。ひらかたパーク、水族館、動物園、映画村の年パスをつくる。
6月	ひたすら授業や実習に出て課題をこなす。		アジア脊椎学会で英語口演する。進歩を実感。
7月	CBNグループにレビュー1のタイトル登録を断られるが、なぜかコクランメンバーに登録される。	納涼会の幹事をする。	ようやく妻が復活する。湖南の寝当直（月1回）を開始。
8月	前期末のテストや課題に追われ、意外と時間がない。	学会の運営委員に入れていただく。臨床研究デザイン塾に参加。	膝が痛くなり、ケチって電動自転車を買わなかったことを後悔する。
9月	授業はないが、課題に追われ時間がない。論文の網羅的検索を学ぶ。	研究1のデータを申請し届く。ミーティングで研究1を揉んでいただく。	基幹学会の査読を何件かする。進歩を実感する。
10月	月・火は前期より忙しくなり、水・木・金はほぼフリーになる。が、課題	データの粗解析で期待した結果が得られず焦る。合宿幹事をする。	友人の紹介で、市内の脊椎外来＋手術（週1回）を開始する。

	に追われて時間がない。		
11月	プロマネ・プレプロマネで研究1を揉んでいただく。後期前半の課題に追われる。謝恩会の幹事をする。	合宿で出たCQが先輩方との共同研究として走りだす。同期でModern Epidemiologyの勉強会をはじめ。	第1回脳外整形共通専門医試験を受ける。第3女が生まれ家政夫になる。
12月	とくに統計の授業や実習が高度になり、消化不良が悪化する。	研究1の解析が概ね終わる。並行してより臨床的意義が大きい研究を探す方針となる。	貯金額1/3、ふるさと納税限度額1/7の事実に焦る。脊椎手術を執刀し、外科医であることを思い出す。
1月	レビュー1のプロトコルが完成する。CMSグループにレビュー2のタイトル登録を申請。後期末の課題に追われる。		授業料が半額免除される過去の国際学会発表演題に論文執筆依頼がくる。比英会話を開始。
2月	課題研究発表会でのシビアさに焦る。		比較的コンスタントに手術に携わるようになる。

1年を振り返って感じたことを徒然にかきますと、

- ・臨床研究は想像以上に奥が深い
- ・その日をしのげばリセットされる忙しさと、リセットされない忙しさ
- ・時間が経つのはあっという間

でしょうか。私は専門職学位課程 MPH (2年) でしたが、1年目は MPH と MCR の授業実習、教室の仕事に家事、生計をたてるためのアルバイトで怒涛のように過ぎました。ハードワークには自信？があったのですが、ちょっと質が違う忙しさを体感し、時間の大切さが身に染みる今日この頃。臨床研究者としてはまだまだ駆け出しですが、1年前の自分と比べると各段の進歩は実感します。独学では絶対にたどり着けなかったのが、京都に来て本当に良かったと思います。また MCR では志が近い仲間が教室の垣根を超えてできますし、多くの先生方にも研究を揉んでもらえるいい機会です。是非これだ！という CQ を持ち込んで欲しいと思います。